

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	増殖能が低い肺神経内分泌癌の検討
	研究目的	神経内分泌腫瘍は多くの臓器から発生する腫瘍であり，膵臓を含む消化管では増殖動態によりグレード1, グレード2, 神経内分泌癌の3段階にグレードアップされています．膵神経内分泌癌については，増殖能が比較的低い高分化型神経内分泌癌が存在し，低分化型のそれとは区別すべき腫瘍群であることが明らかになりました．これを受けて，2017年に，膵高分化型神経内分泌癌が神経内分泌腫瘍グレード3として新たに分類されました．肺の神経内分泌癌の中にも比較的増殖能が低い腫瘍が存在しますが，この中には膵神経内分泌腫瘍グレード3に相当する高分化な腫瘍が混在している可能性があります．そこで当院で2007年から2017年に手術された肺神経内分泌癌の症例を見直し，肺においても高分化型神経内分泌癌が存在するかを検討しました．
	研究期間	西暦 2018年4月27日～西暦 2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	稲福賢司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科，呼吸器内科、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし